

H26

大学院大学設置可能性調査事業
事業構想大学院大学へ委託
(12,000千円)

デザインのもつ可能性調査

・シンポジウム、ワークショップ
などの実施

地域におけるデザインの持つ
可能性、必要性の理解を広める
(地域：「**デザイン系大学院大学
を考える会**」
の考えや動きと連携も含む)

模擬大学院大学の試行による 可能性調査

・研究員15名を募集し、実際の「**事業
構想案**」を立案できるところまでの
人材を育成

具体的な大学院大学の試行を通
じて、当地における「**大学院大
学**」のベースづくりを行う

H26中間整理

デザインのもつ可能
性や必要性については
共通の認識を深めた

地理的な条件やリニ
ア開通により旧飯田工
業高校を利用して「知と
産業の集積」を目指した
い

規模、設置方法など
「場づくり」の具体的な
検討を進める必要がある

具体化
本格化

地域の専門的な教育
に対するニーズは高い
ものがある

事業構想大学院大学
の教育カリキュラムに
手ごたえを感じている。

リニア開通を見据え、
安定した雇用創出を創
出するため、本格的な
人材育成が必要性であ
る

場
づ
く
り

人
づ
く
り

H27

地方版 総合戦略で

H26 「地方創生先行型」14事業申請するうちの2事業とする
H27 先行型14事業を含めた「地方版総合戦略」を策定していく

サイエンスパーク構想 推進事業(10,000千円)

サイエンスパークを構成する
要素固め及びその基本調査

大学院大学設置へ向けて
「**事業構想大学院大学**」「**学輪
IIDA**」などから**大学院大学設置に
向けての知見提供をいただく**

アカデミック機能の構築
(総合政策部)

産業センターの構築
(産業経済部)
大学院大学の構築
(産業センター+ (考える会))

事業創生人材 育成事業(12,000千円)

(地方創生のメニューを活かす)
地方への人材還流、地方での
人材育成、地方の雇用対策
・大学等における地域ニーズに対
応した人材育成支援
地方大学等の活性化
・地域人材育成プラン - 地域産業
の振興を担う人材育成

地域の各分野へ
イノベーションを起こす
人材を輩出(10人)
(総合政策部)

(3)スーパーメガリージョンと新たなリンクの形成④ ~ナレッジ・リンクの形成~ 国土交通省

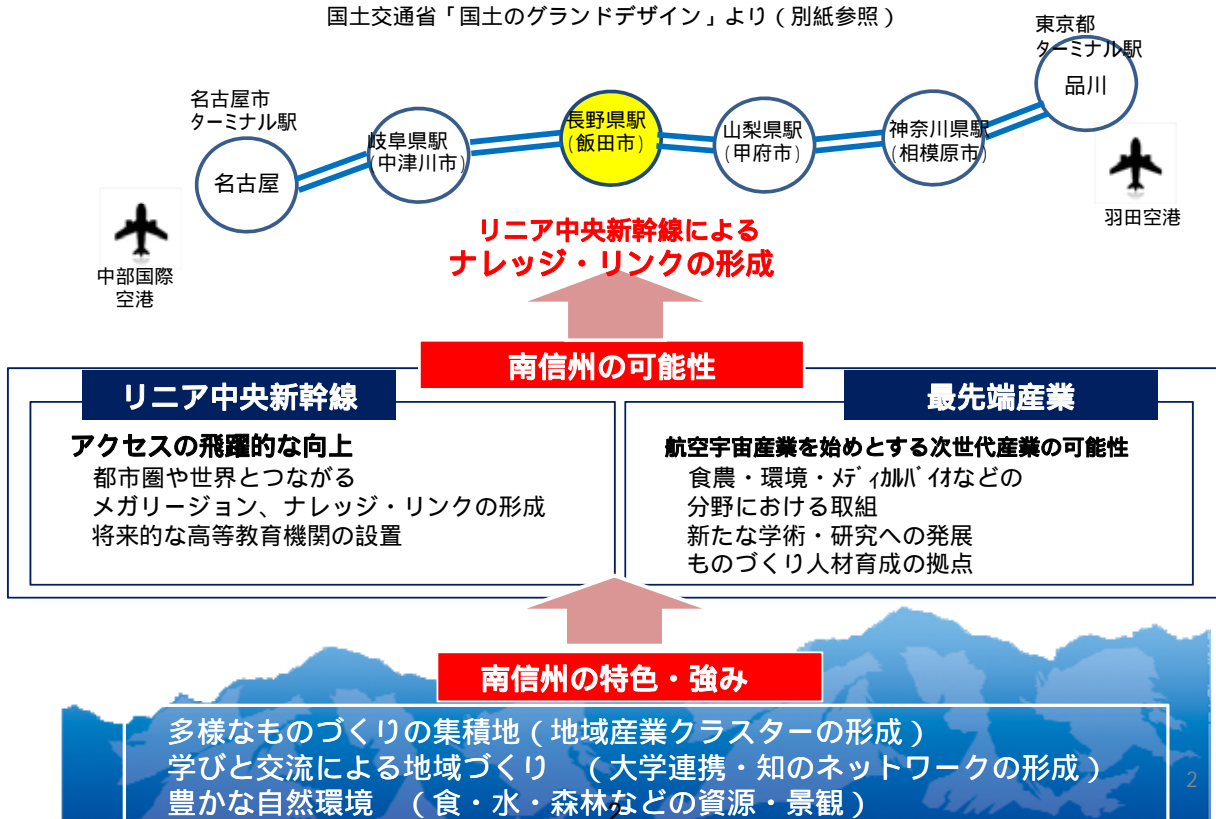
【ナレッジ・リンク】メガリージョン内外で、知の創発拠点をつないで、**活力ある知の集積**をもたらす



地方創生に向けたリニア中央新幹線を見据えた戦略的地域づくり

- 南信州の特色を活かし、ナレッジ・リンク()の一翼を担うモデル地域の実現 -

国土交通省「国土のグランドデザイン」より(別紙参照)



リニアの時代に、未来を拓き、新たな価値を創造する
「学術研究都市圏」の創造

ねらい

産・学・官・地域の連携により、学術研究機能の強化を図る
「人」を育てる、「産業」を起こす、「地域」を創る
「多様性」「創造力」を培い、イノベーションを創出する

強み

アジア 1航空宇宙産業クラスター形成特区への参入と
航空宇宙産業クラスター拠点工場の建設
食農・環境・デザイン系各クラスター育成の取り組み
デザイン系大学院大学の設置検討



人・モノ・情報が活発に行き交う場
「知」の拠点のプラットフォーム = 欧米に伍する
サイエンスパーク機能の創出

旧飯田工業高校の活用

未来を拓く産業振興の拠点

- 機械科・電子機械科棟・体育館 -
- ・産業振興機能の集積(産業センター)
- ・ものづくり人材育成の拠点
(飯田産業技術大学・ものづくり高度人材育成)
- ・インキュベーション機能の強化
(試験・研究・創業支援)
- ・EMCセンター、工業技術センター
- ・最先端産業試験設備等

アカデミック(学術的)な施設

将来的な高等教育機関

- 定時制・電気科混合棟 -

デザイン系大学院大学

セミナーハウス

- 管理・教室棟 -

- ・南信州・飯田フィールドスタディ
- ・学輪IIDAの活動拠点
- ・宿泊施設(簡易な宿泊施設)

地域の学習・教育・研究施設
・住民の学習の場・歴史研究所など

大学の教育・研究施設
・県立大学のサテライトキャンパス
・貸し研究室 など

旧飯田工業高校
施設活用のイメージ



平成27年度飯田市・事業構想大学院大学プロジェクト研究 年間スケジュール (素案)

回	日程	時間	開催地	テーマ(状況によって変更)	事業構想サイクル
1	5月下旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	オリエンテーション・チームビルディング・懇親会	発・着・想
2	6月上旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	発・着・想へのいざない	
3	6月下旬 (金曜日)	13:00～21:40	東京	東京合宿「未来社会の中から課題を探す」 (フィールドワーク、授業聴講、院生との交流などを含む) 6/27(土)18:00-19:00本科生の交流会(土曜会)に参加	
4	6月下旬 (土曜日)	9:00～19:00			
5	7月中旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	視点を変えた発想	構想案
6	8月上旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	ビジネスモデルの構築	
7	8月	未定	調整	グループ討議など	
8	8月	未定	調整	グループ討議など	
9	9月上旬 (金曜日)	13:00～21:00	東京	東京合宿「ビジネスモデルの発表」 (フィールドワーク、サロンスピーチ、院生との交流などを含む) 9/5(土)午後MPDクリエイティブキャンパス	
10	9月上旬 (土曜日)	9:00～17:00			
11	10月中旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	フィールド・リサーチ	フィールド・リサーチ
12	11月下旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	フィールド・リサーチ	コミュニケーション
13	12月中旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	マーケティング・コミュニケーション	
14	12月	未定	調整	グループ討議・個別指導など	
15	12月	未定	調整	個別指導など	
16	1月上旬 (金曜日)	13:00～17:00	東京	東京合宿「事業構想案中間発表」	さらに、「発着想 構想案 フィールド・リサーチ 構想計画 コミュニケーション」
17	1月上旬 (土曜日)	9:00～17:00			
18	2月	未定	遠隔	個別指導	
19	2月	未定	遠隔	個別指導	
20	2月下旬 (土曜日)	13:00～17:00	飯田	最終発表にむけて	
21	3月上旬 (日曜日)	13:00～17:00	飯田	最終発表会(公開・シンポジウム併催)	

【試行プログラム(H26年度)との違い】

開講期間を5か月 11か月とすることで、事業構想をしっかり考え、リサーチし、まとめあげる時間を確保する。平日夜間から土曜日昼間の開講とし、出席しやすくするとともに、じっくりと考え、消化する時間を確保する。東京合宿を3回実施し、普段とは違った環境で発想の転換を図る。また研究員同士・本科生との交流も深める。遠隔システム等を利用し、研究員が教員に自発的・積極的に相談できる環境をつくる。

【プロジェクト研究員の公募について】

説明会と同時にミニワークショップを開催し、事業構想に対する理解を深めていただき、意欲の高い方に応募いただく。応募書類だけでなく、面接を実施し、本人の意欲や熱意を直接教員が確認する。H26年度受講者も継続しても役立つようなプログラム編成を行う。応募資格は、飯田市在住者または在勤者の社会人とする。